

平成 24 年度事務局研修会開催

10 月 19 日 京都全日空ホテル 全国より 75 名参集

全国海運組合連合会は 10 月 19 日、京都市内の京都全日空ホテルで平成 24 年度事務局研修会を開催した。昨年度は東京で開催したが、地方事務局の要望により開催地をそれまでの京都に戻したもの。

この日参集したのは全国の所属組合、地区組合、支部等を合わせて 75 名。高木信男専務理事の司会で始まった研修会は、寺岡洋一副会長・総務委員長の挨拶に続き、堀江孝・内航総連合会経理部長が「地球温暖化対策税について」講演。同税の目的とスキーム、還付と内航海運事業者の手続き方法等について詳しく説明し、参加者と質疑応答を交わした。続いて小比加恒久会長が「内航海運の現状と今後の課題」について講演。この後、高木専務理事と中島繁理事・事務局長代理がデータと資料に基づき、①暫定措置事業資金管理計画②平成 25 年度の国土交通省海事局内航関係予算概算要求の概要③ILO 海事労働条約・船員法改正の経緯等④同条約・船舶設備規程改正の概要等⑤実態調査による船員の年齢別構成等⑥内航船員の確保・育成に関連する「共育センター」の設立構想、など内航海運のおかれている厳しい現状や問題点等を説明。参加者は熱心に聴講した。次いで 18 直接所属組合事務局から、先に集計された「組合事情報告書」に基づき、地方のおかれている実情や切実な要望等について述べられた。

なお、研修会終了後の懇親会では、北は北海道から南は沖縄まで全国から参集した事務局関係者が貴重なひとときを過ごし、和やかな中、盛会裡に終了した。

研修会

🗨️ 熱心に聞き入る事務局関係者



手前から寺岡副会長、小比加会長、堀江氏、高木専務理事、中島理事



🗨️ 全国から参集の事務局関係者

懇親会

🗨️ 和やかな交流

